

第 112 回

2013. 2. 18

企業経営動向調査

公益財団法人 徳島経済研究所

調査目的	徳島県内の企業動向を的確に把握すること
対象企業	県内主要企業325社、回答企業201社、回答率61.8%
調査対象期間	2012年10～12月期の実績、2013年1～3月期および4～6月期の予想
調査時点	2013年1月上旬～下旬

要約

2012年10～12月期の業況判断は前期より改善 2013年1～3月期は小幅な悪化に留まる見込み

県内企業（全産業）経営動向調査結果によれば、10～12月期の業況判断BSI（前期→当期： $\Delta 23 \rightarrow \Delta 6$ ）は、プラスを記録した前年同期と比べ低い水準ではあるが、前期より改善した。業種別でも、製造業（同： $\Delta 28 \rightarrow \Delta 14$ ）、非製造業（同： $\Delta 20 \rightarrow \Delta 2$ ）ともに改善している。

一方、先行きについて、1～3月期の業況判断は、例年は悪化することが多いが、景気回復への期待感を反映し、全体の業況判断（ $\Delta 8$ ）は小幅な悪化に留まる見通しである。4～6月期の業況判断（ $\Delta 1$ ）も、同様の理由により、1～3月期と比べ改善する見通しである。

設備投資額は、大きく増加した前年度からの反動減により、総投資額は前年比49.2%減の約129億円となった。

先行き1～3月期の計画は、実施企業の比率が今期とほぼ横ばい、投資額については今期と同様に前年比での減少が続く見込みである。今後1年間の設備投資意欲は、製造業が低下する一方で、非製造業は上昇している。

1. 概況 (全産業)

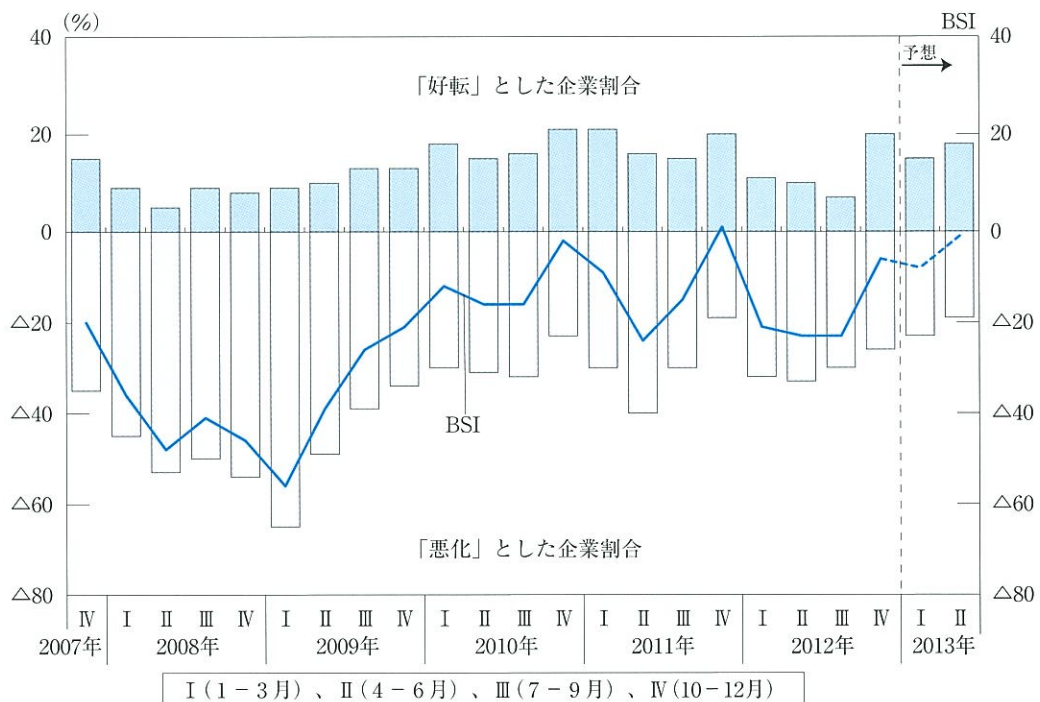
【2012年10～12月期の実績】 全体の業況判断は、前期より改善

県内企業の当期（2012年10～12月期、以下同じ）の動向をみると、例年見られる年末にかけての需要増加などを背景に、業況判断は製造業、非製造業とも改善した。

これをBSI（業況が「好転（増加）」と回答した企業割合から「悪化（減少）」と回答した企業割合を引いた数値）でみると、前期に比べ、売上げBSIは△7から15へ、収益BSIは△18から4へ、業況判断BSIは△23から△6へ、とそれぞれ改善した。なお、前回調査時の業況判断BSIの10～12月期予想は△11であり、実績が予想を上回った結果となった。

10～12月期の業況判断BSIを2007年からみると、△20（2007年）→△46→△21→△2→1→△6（今回）と推移しており、17年ぶりにプラスを記録した前年同期よりも悪化している。

企業経営者による業況判断



— 図の見方 —

- ① アンケートでは、売上げ、経常利益、業況の各項目について、前期に比べて「好転（増加）」「不変」「悪化（減少）」の回答を求めており、BSIはこのうち「好転（増加）」と回答した企業割合から「悪化（減少）」と回答した企業割合を差し引いた値です。
- ② このBSIから、「売上げが何%伸びたか」など計数的な測定はできませんが、景気の転換点（景気の山、谷）や「好転感が県内の各企業にどの程度広がっているか」といった「浸透度」をみる事が可能です。
- ③ 前期比は季節性が入りやすいので、前年同期と比較することも必要です。

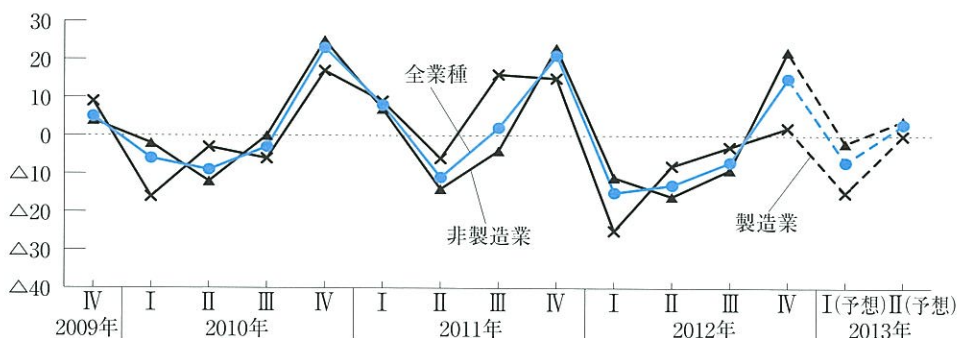
【2013年1～3月期の予想】 業況判断は小幅な悪化に留まる見通し

1～3月期の予想は、10～12月期に比べ、全業種の売上げBSI（15→△7）、収益BSI（4→△8）と悪化するが、景気回復への期待感を反映し、業況判断BSI（△6→△8）の悪化は小幅に留まる見通し。また、この業況判断BSIの水準は、前年同期の実績（△21）を13ポイント上回っている。

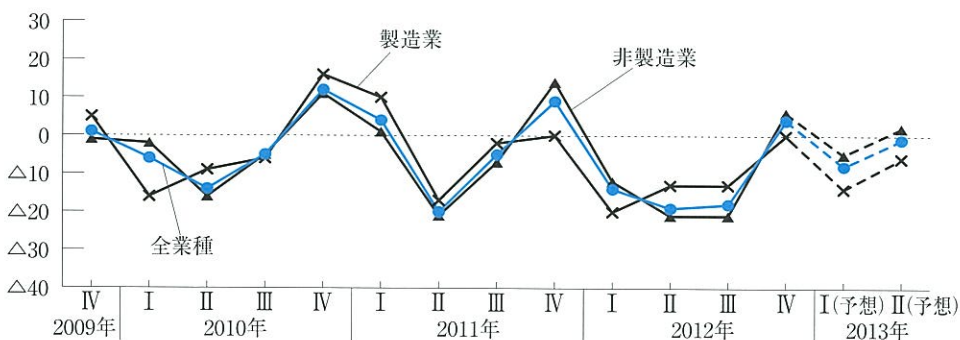
【2013年4～6月期の予想】 業況判断は改善する見通し

4～6月期の予想は、売上げBSI（△7→3）、収益BSI（△8→△1）、業況判断BSI（△8→△1）とも1～3月期より改善する見通し。この業況判断BSIは、前年同期実績（△23）を大きく上回る見通しとなっている。

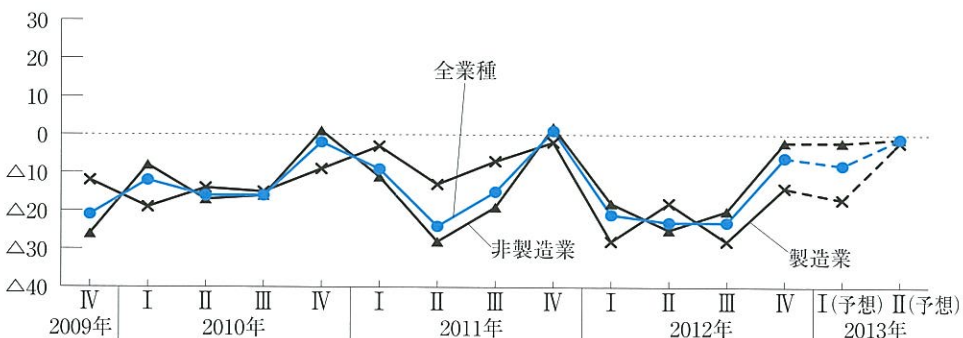
(1) 売上げBSI



(2) 収益BSI



(3) 業況BSI



2. 製造業の動向

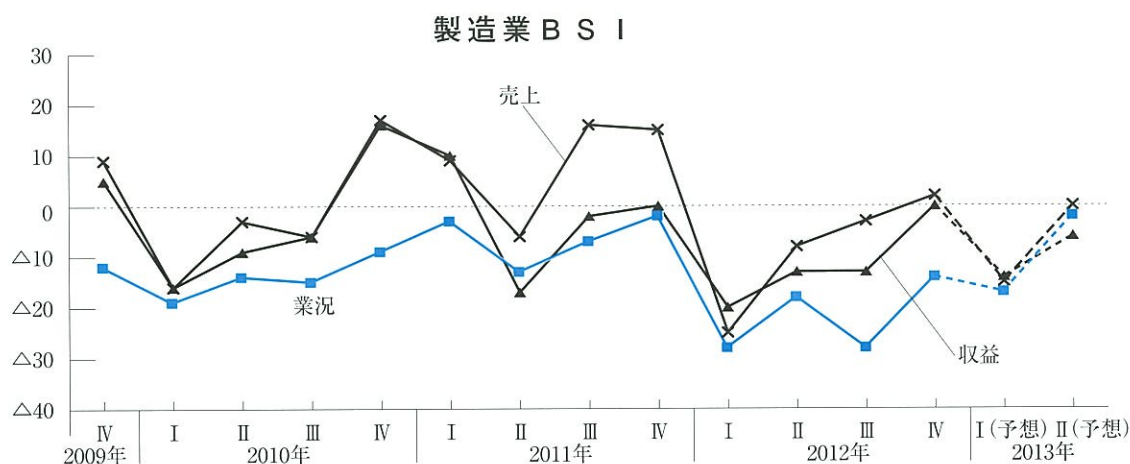
【製造業の現状】 業況判断は前期より改善

製造業の当期の動向をみると、前期に比べ、売上げBSI ($\Delta 3 \rightarrow 2$ (前回調査時の予想13))、収益BSI ($\Delta 13 \rightarrow \pm 0$ (同9))、業況判断BSI ($\Delta 28 \rightarrow \Delta 14$ (同 $\Delta 13$))とも改善した。もっとも、前年同期との比較は、収益BSI ($\pm 0 \rightarrow \pm 0$)が横ばい、売上げBSI ($15 \rightarrow 2$)と業況判断BSI ($\Delta 2 \rightarrow \Delta 14$)は悪化している。

【先行き】 業況判断は1～3月期は悪化するが、4～6月期は改善する見通し

1～3月期の予想をみると、当期に比べ、売上げBSI ($2 \rightarrow \Delta 15$)、収益BSI ($\pm 0 \rightarrow \Delta 14$)、業況判断BSI ($\Delta 14 \rightarrow \Delta 17$)ともに悪化する見通し。もっとも、この業況判断BSIの予想は、前年同期 ($\Delta 28$)よりも11ポイント上回っている。

4～6月期の予想は、1～3月期予想に比べ、売上げBSI ($\Delta 15 \rightarrow \pm 0$)、収益BSI ($\Delta 14 \rightarrow \Delta 6$)、業況判断BSI ($\Delta 17 \rightarrow \Delta 2$)ともに改善する見通し。また、この業況判断BSIの予想は、前年同期 ($\Delta 18$)を上回る見通しとなっている。



3. 非製造業の動向

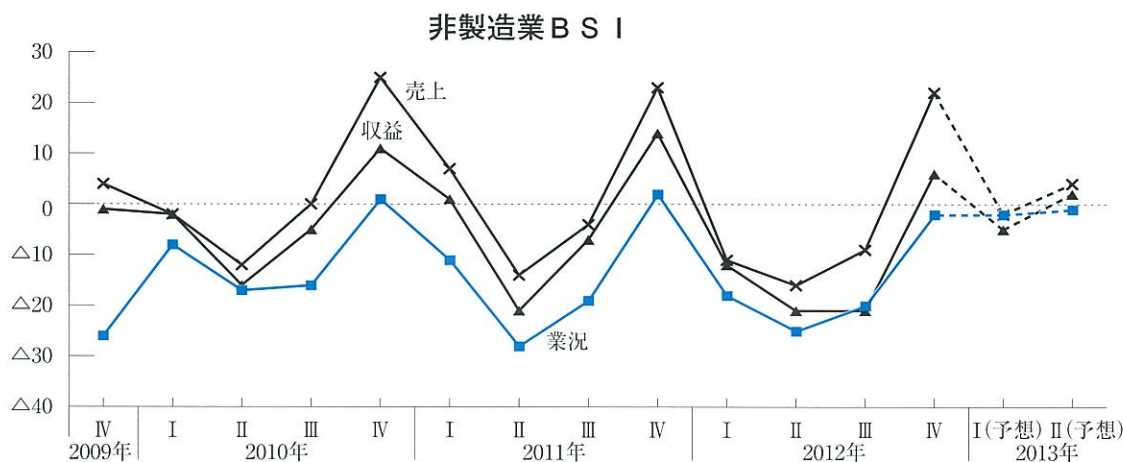
【非製造業の現状】 業況判断は前期より改善

非製造業の当期の動向をみると、前期に比べ、売上げBSI ($\Delta 9 \rightarrow 22$ (前回調査時の予想8))、収益BSI ($\Delta 21 \rightarrow 6$ (同1))、業況判断BSI ($\Delta 20 \rightarrow \Delta 2$ (同 $\Delta 10$))とも改善した。前年同期との比較は、売上げBSI ($23 \rightarrow 22$)がほぼ横ばいの方、収益BSI ($14 \rightarrow 6$)、業況判断BSI ($2 \rightarrow \Delta 2$)は悪化している。

【先 行 き】 業況判断は1～3月期は横ばい、4～6月期もほぼ横ばいの見通し

1～3月期の予想をみると、当期に比べ、売上げBSI (22→△2)、収益BSI (6→△5) は悪化するが、業況判断BSI (△2→△2) は横ばいの見通し。また、この業況判断BSIの予想は、前年同期 (△18) を上回っている。

4～6月期の予想は、1～3月期予想に比べ、売上げBSI (△2→4)、収益BSI (△5→2) は改善、業況判断BSI (△2→△1) はほぼ横ばいの見通し。また、この業況判断BSIの予想は、前年同期 (△25) を大きく上回っている。

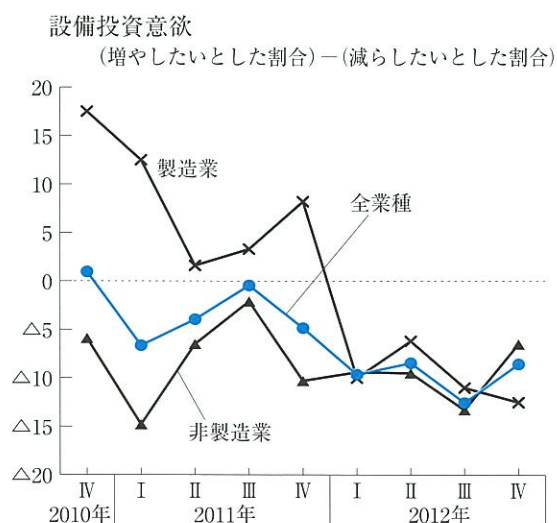


4. 設備投資の動向

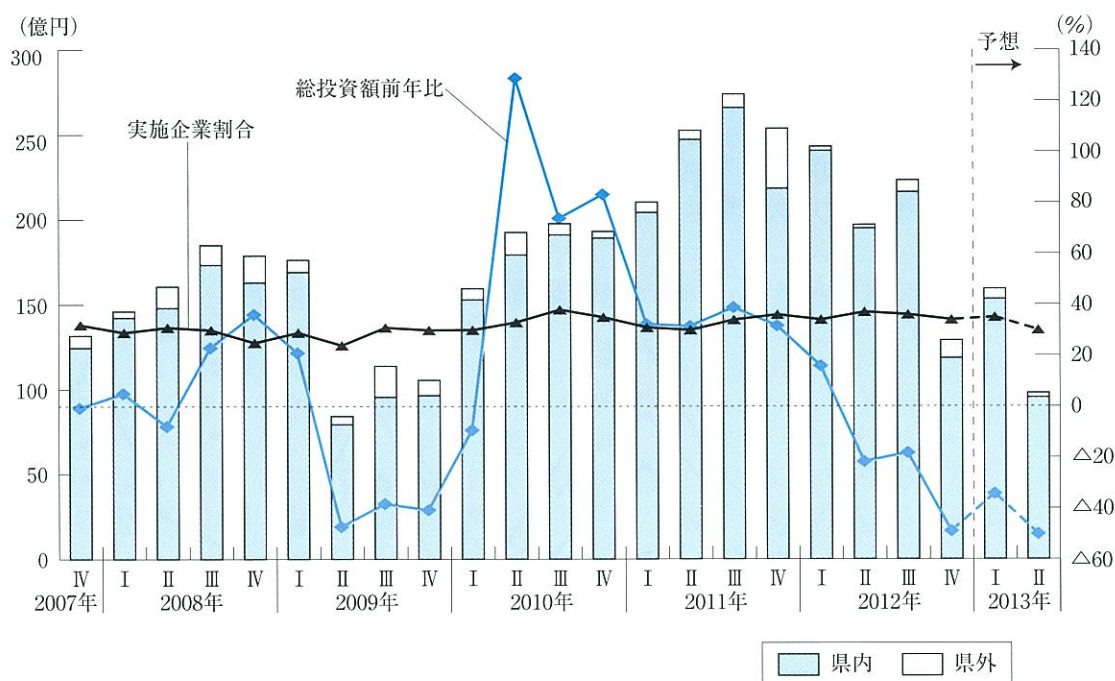
回答企業 (全産業) のうち、当期において1百万円以上の設備投資 (新規リース契約を含む) を実施した企業は全体の34.0%、総投資額は128億86百万円 (うち、県内投資額は118億38百万円) であった。前年同期実績と比較すると、実施企業の割合が2.2ポイント低下したとともに、昨年度大手企業により大幅に増加した反動により、総投資額は49.2%減少した (前期比でも42.3%減少)。

先行きの計画をみると、1～3月期の実施企業割合は35.0%で10～12月期とほぼ横ばい。一方、総投資額は前年比で34.5%減となる約159億円の見通しである。

今後1年間の設備投資意欲 (全産業) は、「増やしたい」11.9%、「減らしたい」20.4%、「ほぼ変わらない」67.7%となった。また、「増やしたい」から「減らしたい」を差し引いた比率は、全産業が△8.5ポイント (前期△12.5ポイント) と2期ぶりにマイナス幅が縮小した。業種別では、製造業が△12.5ポイント (同△11.0ポイント) で拡大した一方、非製造業は△6.5ポイント (同△13.3ポイント) で縮小している。



設備投資額（支払ベース）



製造業

当期に1百万円以上の設備投資を実施した企業の割合は、47.6%（前年同期54.1%）であった。また、総投資額は、一昨年度、昨年度と大幅な増加が続いた大手の電子・化学関連部品メーカーによる投資が一巡していることを主因に、総投資額は106億63百万円（同228億36百万円）、うち県内投資額は103億14百万円（同205億42百万円）となり、前年同期に比べ53.3%減少した。

設備投資を目的別にみると、前期と比べ、「既存設備の補修更新」、「合理化・省力化」の比率が上昇した一方で、「増産・拡販のため」、「研究開発」が低下した。

先行きの計画について、1～3月期の総投資額は約139億円で、前年同期比で38.1%減少する見込みとなっている（今期と比べると23.6%増加する見込み）。また、4～6月期の総投資額も、前年同期比50.3%減が見込まれている。今後1年間の投資意欲については、先行き「増やしたい」とする企業割合（12.5%）が「減らしたい」とする企業割合（25.0%）を12.5ポイント下回り、この差は前期から拡大している。

非製造業

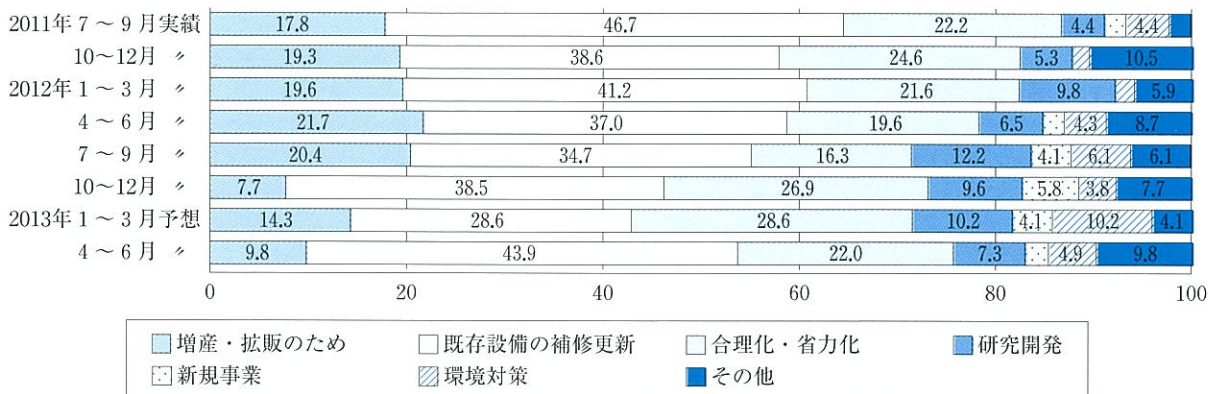
当期に1百万円以上の設備投資を実施した企業の割合は27.8%（前年同期28.8%）、総投資額は22億23百万円（同25億41百万円）、うち県内投資額は15億24百万円（同12億95百万円）となり、前年同期と比べ総投資額は12.5%減少した。

目的別にみると、前期と比べ、「既存設備の補修更新」の比率が上昇した一方で、「合理化・省力化」が横ばい、「拡販のため」が低下した。

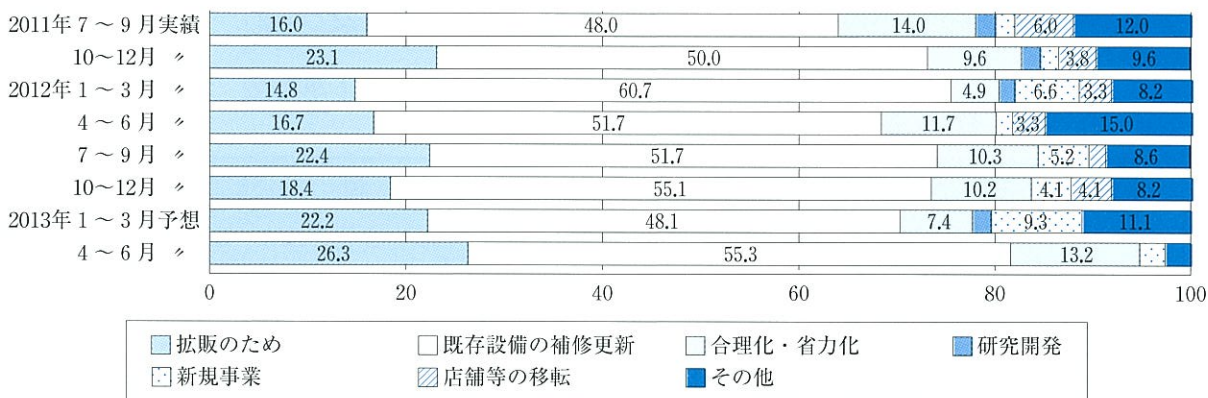
先行きの計画については、1～3月期の総投資額は前年同期比7.6%増の約17億円の一方、4～6月期は同57.1%減の約6億円の投資が予定されている。投資意欲については、先行き「増やしたい」とする企業割合（11.7%）が「減らしたい」とする企業割合（18.2%）よりも6.5ポイント下回ったが、この差は前期から縮小している。

設備投資の目的

(1) 製造業



(2) 非製造業



(複数回答)

回答企業の概要

		(社)		
		総数	製造業	非製造業
資本金規模	1百万円未満	0	0	0
	1～3百万円未満	2	1	1
	3～5百万円未満	1	0	1
	5～10百万円未満	3	1	2
	10～50百万円未満	124	35	89
	50～1億円未満	44	16	28
	1億円以上	27	11	16
	計	201	64	137
従業員数	10人未満	16	7	9
	10～30人未満	47	12	35
	30～50人未満	41	12	29
	50～100人未満	41	8	33
	100～200人未満	30	10	20
	200～300人未満	7	6	1
	300～	19	9	10
計	201	64	137	

		(社)	
		業種	回答
製造業	食料品		7
	繊維製品		5
	木材・木製品		13
	パルプ・紙		3
	化学工業		6
	窯業・土石		5
	機械・金属		17
	その他		8
計		64	
非製造業	建設業		20
	運送業		14
	卸売業		43
	小売業		24
	サービス業		36
	その他		0
計		137	
総数		201	

参 考 資 料

B S I

(1) 業況判断

(単位：%)

	全産業				製造業				非製造業			
	好転	不変	悪化	BSI	好転	不変	悪化	BSI	好転	不変	悪化	BSI
2011年 4～6月実績	16	44	40	△24	24	39	37	△13	13	46	41	△28
7～9月々	15	55	30	△15	19	55	26	△7	13	55	32	△19
10～12月々	20	61	19	1	18	62	20	△2	21	60	19	2
2012年 1～3月々	11	57	32	△21	10	52	38	△28	12	58	30	△18
4～6月々	10	57	33	△23	13	56	31	△18	9	57	34	△25
7～9月々	7	63	30	△23	6	60	34	△28	8	64	28	△20
10～12月々	20	54	26	△6	17	52	31	△14	21	56	23	△2
2013年 1～3月予想	15	62	23	△8	11	61	28	△17	18	62	20	△2
4～6月々	18	63	19	△1	20	58	22	△2	17	65	18	△1

(2) 売上げ判断

(単位：%)

	全産業				製造業				非製造業			
	好転	不変	悪化	BSI	好転	不変	悪化	BSI	好転	不変	悪化	BSI
2011年 4～6月実績	30	29	41	△11	35	24	41	△6	27	32	41	△14
7～9月々	31	40	29	2	39	38	23	16	28	40	32	△4
10～12月々	42	37	21	21	38	39	23	15	43	37	20	23
2012年 1～3月々	24	37	39	△15	18	39	43	△25	27	35	38	△11
4～6月々	25	37	38	△13	29	34	37	△8	23	38	39	△16
7～9月々	23	47	30	△7	28	41	31	△3	21	49	30	△9
10～12月々	40	35	25	15	36	30	34	2	42	38	20	22
2013年 1～3月予想	23	47	30	△7	16	53	31	△15	27	44	29	△2
4～6月々	27	49	24	3	28	44	28	0	26	52	22	4

(3) 経常利益判断

(単位：%)

	全産業				製造業				非製造業			
	好転	不変	悪化	BSI	好転	不変	悪化	BSI	好転	不変	悪化	BSI
2011年 4～6月実績	22	36	42	△20	24	35	41	△17	21	37	42	△21
7～9月々	24	47	29	△5	29	40	31	△2	22	49	29	△7
10～12月々	32	45	23	9	26	48	26	0	35	44	21	14
2012年 1～3月々	22	42	36	△14	20	40	40	△20	23	42	35	△12
4～6月々	20	41	39	△19	25	37	38	△13	18	43	39	△21
7～9月々	18	46	36	△18	23	41	36	△13	15	49	36	△21
10～12月々	32	40	28	4	33	34	33	0	31	44	25	6
2013年 1～3月予想	21	50	29	△8	17	52	31	△14	23	49	28	△5
4～6月々	24	51	25	△1	22	50	28	△6	25	52	23	2

(注) B S I = (好転) - (悪化)